

日本体育大学医療専門学校整復健康学科では以下の研究を実施しています。

この研究について詳細に知りたい方は「問い合わせ先」までお問い合わせください。また、この研究の研究対象者に該当すると思われる方で、ご自身の情報を「この研究課題に利用（又は他の研究を行う機関に提供）してほしくない」と思われた方は、情報の使用を拒否することができますので、「問い合わせ先」に連絡してください。

研究の名称	高校の評定平均値と入学試験の成績および入学後の期末試験結果の関連性 —歯科衛生士の専門学校入学者を対象とした調査—
研究責任者	整復健康学科 吉田 裕輝
研究期間	2024年11月1日～2027年3月31日
研究の目的・概要	歯科衛生士国家試験の合格率は全国的に高い状態です。しかし、少子化に伴い、学習意欲が高く、歯科衛生士への志が高い学生の学生募集に苦戦している学校が多いのが現状です。そこで今後、入学者数の減少と入学者に対する国家試験合格率は低下していくことが予想されます。高校時代の成績は入学後の成績に影響を及ぼす要因であると考えます。にもかかわらず、高校時代の成績、入学試験成績と入学後の学業成績を比較検討した報告はみあたりません。そこで本研究では、歯科衛生士養成課程の専門学校入学者を対象とし、成績の現状把握と、今後の学校教育に活かすことの目的として、高校の評定平均値と入学試験の成績および入学後の期末試験結果の関連性を分析します。結果を分析することで、次年度以降の入学者への学校教育・学習支援の改善や向上に貢献することができます。また、入学後の成績が低いと予測される学生を早期に発見できれば、早期に学習フォローアップを実施することも可能になります。そこで、今回下記の情報を用いて分析することで、今後の学校の発展および教育の質改善を図るために材料とする目的として実施します。
利用または他機関に提供する情報	2018年から2024年の7年間における日本体育大学医療専門学校、口腔健康学科に入学者された方のうち、1年生の前期期末試験を受験された方の以下の情報を利用します。 高校の評定平均値、性別、最終学歴（高卒および短大・大卒）、入学試験受験時期、入学試験区分（A0,一般,推薦）、入学試験成績、1年次前期期末試験の点数
情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供する場合はその方法を含む）	得られた情報から高校時代の評定平均値と入学試験成績および前期期末試験点数との関連性を分析します。またこれらの関連性は、評定平均値別、性別、最終学歴別、入学試験受験時期別、入学試験区分別に分けたときに関連性や傾向が見出せるのかを分析していきます。得られたデータはすべて仮名加工情報として個人を特定できない形として保存します。そして、データ分析に用いる専用のコンピュータを用い、パスワード保護を行い、厳重に保管します。 得られた成果は、個人情報保護に配慮した上で学会や論文に発表されます。 当該研究で得られたデータは他施設への提供はありません。
情報を利用する者の範囲	研究責任者 日本体育大学医療専門学校 整復健康学科長 吉田 裕輝 研究担当者 日本体育大学医療専門学校 口腔健康学科 鈴木 香保利
問合せ先	日本体育大学医療専門学校 整復健康学科 吉田 裕輝 電話：03-5717-6161